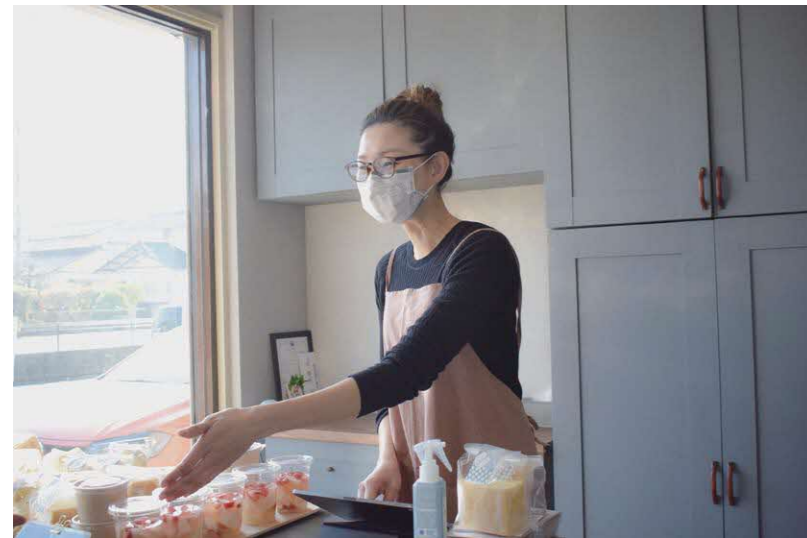


思い出の味を、 この町で。

羽根野に今年1月オープンした点心のテイクアウトのお店「Syun358.」。一つ一つ丁寧に作られるシューマイや中華まんは、本格的な味が楽しめる評判です。今回の「シリーズまち・ひと・しごと」は、手作り点心の店「Syun358.」代表の野原安希さんにお話を伺いました。



シリーズまち・ひと・しごと
のはらあき
Syun358. 代表 野原安希さん

点心のお店を志す原点となったのは、両親が30年以上に渡って営んでいた中華料理店「ユーイーシュン」でした。学生時代にホールやお皿洗いの手伝いをしていて、常連さんとの会話から生まれる楽しさや、温かい雰囲気心地良さを感じていました。いつかは自分もお店を持ちたい、という気持ちが芽生えたのはこの頃です。

父が作る点心は、皮から手作りする中華まんや、肉のポリウムが特徴的なシューマイなど、他では味わう事のできない特別な味でした。

今から約12年前、震災を機に両親の中華料理店は閉店し、その点心を食べる機会がなくなってしまいました。他の中華をどこで食べても、父と同じ味や生地と出会えなくて。父の作る点心の味が大好きで、復活してほしいと思っていました。それに加えて、閉店から10年以上経っても、常連だった人達から「また食べた」「復活は考えていないの?」と聞かれる事がよくありました。そのたびに、「思い出の味を復活させたい」という気持ちで、どんどん大きくなっていった。挑戦する事を決心しました。

あとは、手作りの皮のおいしさをたくさんの方に試してもらいたいと思った事も、きっかけの一つです。



思い出の味を再現しよう決めてからまず取り掛かったのは、復活を望む声が一番多かったシューマイの試作です。それまで別の業種で働いていたので、まずは自分で本を読んだりレシピを検索するなどして、シューマイを形にするところから始めました。

それから、家族に試食をしてもらい、父から直接アドバイスを受けて、さまざまな条件で何度も試作を繰り返しました。肉感の強いシューマイを再現するために、使用する豚肉や部位を変えながら、理想の味に近づけていきました。

生地から手作りしていた中華まんの再現は、さらに難しかったです。生イーストを使用して発酵させる生地は、同じ分量で作っても温度や湿度によって状態が大きく変化してしまいます。父に手本を見せてもらいながら同じように作っても、まとめる事すらできない事もありました。

それでも、何度も試作を繰り返して、一年以上かけて思い出の味を再現しました。

お父さんの味を再現するのに苦労も多かったのでは?

INTERVIEW

Vol.48

いい町 利根町 あなた待ち

TONE

広報とね

2023年4月号



～利根町百景～

布川にお住まいの岡野修様からお寄せいただいた利根町百景です。

栄橋から300メートルほど下流の場所で、ハクチョウの姿が見られた時の様子です。撮影日は2月27日。二羽のハクチョウの姿があり、そのうちの二羽を撮影したという事です。

利根川でハクチョウの姿は時々見られるのですが、利根町側から撮影できる事は珍しいそう。一羽だけで独占しているからか、のびのびと羽を伸ばしているようにも見えます。

岡野様、ありがとうございます。

利根川で羽を休めるハクチョウ

📍 利根町布川付近

📌 なし

情報をお寄せください!!

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまから寄せられた情報をご紹介します。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

写真および紹介文(250文字程度)をメールで下記まで送付してください。

総務課秘書広聴係 ☒ kouhou@town.tone.lg.jp

今月の表紙

表紙の写真は、今月の「シリーズまち・ひと・しごと」で取材をした野原安希さんです。思い出の味を再現するまでの道のりや、地域への想いなどを紹介しています。ぜひご覧ください。



もくじ -contents-

広報とね 2023年4月号

- 2 利根町百景／もくじ
- 3 シリーズまち・ひと・しごと #48 思い出の味を、この町で。 syun358. 代表 野原安希さん
- 6 まちの話題 PHOTO NEWS
- 8 Pick UP !
- 9 利根小学校通信
- 10 暮らしの情報欄
- 17 ぼうさい掲示板
- 18 お知らせ -TONE Information-
- 22 利根町議会議員一般選挙
- 24 ふれ愛タクシー利用者アンケート調査結果
- 28 日本ウェルネススポーツ大学通信 フリフリグッパ体操／とねワイワイくらぶ
- 30 SDGs 世界を変えるための17の目標
- 32 保健福祉センターだより／健康レシピ
- 34 こんにちは!! とね子育て支援センターです わが家のアイドル写真館
- 35 図書館へ行こう
- 36 とねまちプレイバック



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)」を使用しています。